

「日本観光振興デジタルプラットフォーム」構築事業 (日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアム)

実施地域

全国

事業期間

令和4年6月～令和5年1月(予定)

事業概要

日本観光振興協会が運用する「全国観光情報データベース」の改善・再構築、情報発信Webサイト「全国観るなび」の刷新を通じて、全国各地域の観光情報を効率的かつ効果的に管理・運用するとともに、観光情報の仕様の統一等を行い、データの流通を拡大する。

オーストラリアのデータウェアハウス(ATDW)を参考に、日本においても同様のモデルが適するかを検討・実証する。

次年度以降は、観光情報の整理・統一化及びプラットフォームの流通拡大に加え、データに基づく地域の観光戦略の立案を推進するため、観光マーケティングデータの整備を行い、効率的なデータ戦略を企画・検討し、持続可能な地域の拡大・発展を目指す。

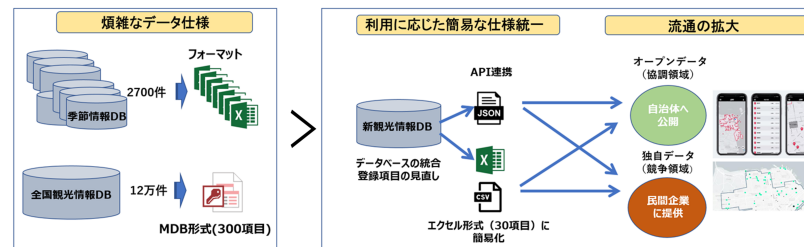
実施体制

観光等事業者：(公社)日本観光振興協会、
(株)マーケティング・ボイス、ソフトバンク(株)

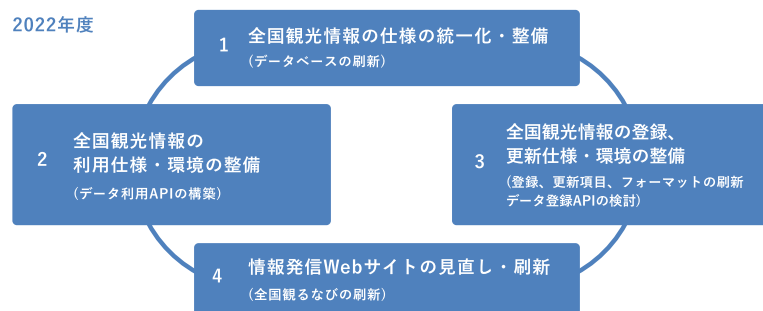
Webサイト「全国観るなび」：地域ストーリーに基づくテーマ別観光への誘導



全国観光情報データベース：データ仕様統一、API連携イメージ



2022年度



2023年度予定

